

みずほの教育

MIZUHO BOARD OF EDUCATION

令和8年(2026)10/1

第53号(年3回発行)

編集・発行: 瑞穂町教育委員会

〒190-1292 瑞穂町大字箱根ヶ崎2335

TEL 042-557-6682 FAX 042-557-2693

<https://www.town.mizuho.tokyo.jp/kyoikuiinkai/index.html>



人と人とが かかわり合って 文化・教養をはぐくむまち みずほ

8/1~2

ジュニア宿泊研修会 in 焼津

温暖な気候と豊かな自然に恵まれた焼津市で、学校・学年の垣根を越えて宿泊研修を行いました。カヌー体験、黒はんぺん作り、ロープストラップ作成、キャンプファイヤーなど、普段の学校生活ではなかなか体験できないことを積極的に楽しみ、学んでいました。



【問合せ】社会教育課社会教育係 ☎557-6695

みずほっ子目標

- み みずほを愛し 発展させるひと
- ず ずっと社会とかかわる 優しいひと
- ほ ほがらか 明るく 夢を語るひと

児童・生徒数(令和8年9月1日現在)

単位: 人

一小	二小	三小	四小	五小	小学校計	瑞中	二中	中学校計	小中学校計
372	224	258	312	180	1,346	443	269	712	2,058

瑞穂町子ども会連合会主催事業

● モルック大会

7月4日スカイホール小ホールでモルック大会を開催し、子ども31名、大人20名が参加しました。子どもたちは異年齢の組み合わせでチームを作り、3コートに分かれ試合を行い、大いに盛り上がりしました。



● 工作教室

8月25日、スカイホール会議室で工作教室を開催し7組15名の親子が参加しました。

今回は、“身近なもので作ろう！”をテーマに、アルミホイルや牛乳パック、割り箸、紙コップ等を使用して、参加者が自由に工作を楽しみました。

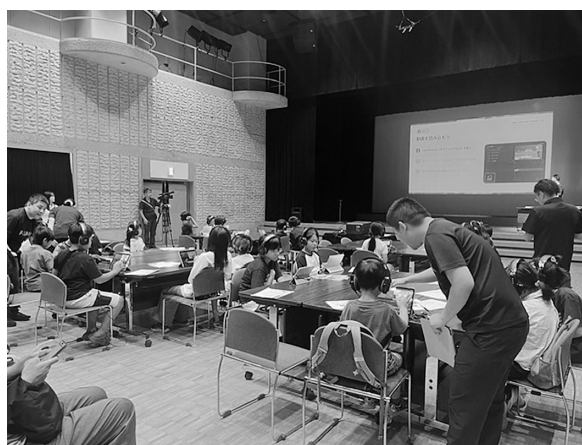


【問合せ】 社会教育課社会教育係 ☎557-6695

子ども体験塾 「創造力爆発！～クリエイターへの扉を開こう～」

8月4日、5日、6日、8日に、羽村市、青梅市と一緒に、「創造力爆発！～クリエイターへの扉を開こう～」ゲーム実況動画作りに挑戦！「マイクラフトでゲーム実況体験」と、マイクラ教育の第一人者タツナミシュウイチさんが、マイクラを通じた「モノづくり」と「表現」について講演いただきました。

※本イベントは、Minecraftの公式のサービスではありません。MojangまたはMicrosoftから承認を受けておらず、それとの関連性もありません。



【問合せ】 社会教育課社会教育係 ☎557-6695

第42回 青少年の主張意見発表会を開催します！

日時 12月19日(土)

開場/午前9時 開演/午前9時15分

場所：スカイホール

町の次代を担う青少年が、自由な発想と豊かな心のもと、今何を思い、考え、伝えたいのか、ぜひ会場でお聴きください。

小学生、中学生および高校・一般の部の優秀賞入賞者が意見発表をします。

【問合せ】社会教育課社会教育係 ☎557-6695



昨年の発表会より

瑞穂町図書館

【問合せ】☎557-5614

○図書館を使った調べる学習コンクールに伴う研修会を開催しました

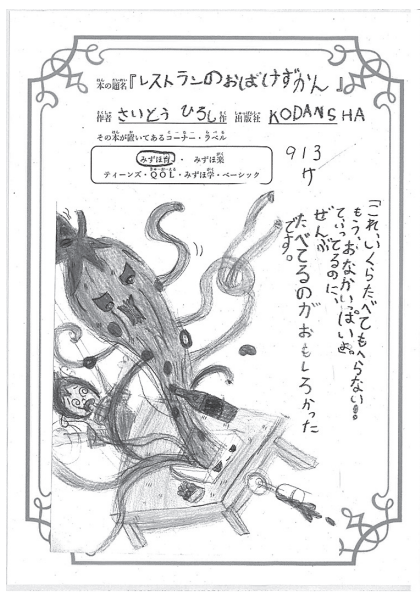
5月27日に「瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクール」に伴う研修会を開催しました。各小・中学校図書館司書や教諭など、10人の参加がありました。

講師に元清教学園中・高等学校 探究科教諭で図書館を使った探究学習・論文作成を長く実践指導されてきた片岡則夫氏を招き、子どもたちが調べる学習に楽しく取り組むための指導のポイントなどをアドバイスしていただきました。

○本のPOPを作って図書館に飾りました

8月1日、2日に図書館と「図書館ファンクラブMIDORI」との共催で、図書館にある自分の「推し本」を紹介するポップを作りました。

参加者は、自分が薦めたい本のおもしろさを伝えるためにキャッチコピーを考えたり、イラストの勉強をしている学生のアドバイスを受けたりしながら、思い思いのポップを作りました。できあがったポップは、本と一緒に館内に飾りました。



耕心館

【問合せ】 ☎ 568-1505

7月26日スカイホール

耕心館サロンコンサート300回記念公演「デビュー50周年小森谷巧とストリングス」

本格的なクラシックの演奏が楽しめる耕心館サロンコンサートは、今から26年前の平成12年に始まりました。瑞穂町の音楽文化振興に携わり、名誉町民でもある牟田久壽氏が、都心に行かずとも上質な演奏が身近で聴けるようにと親交のある演奏家に声を掛け、月1回耕心館で開催してきました。そのコンサートが300回を迎えるにあたり、読売日本交響楽団元コンサートマスターである名ヴァイオリニストの小森谷巧氏に出演を依頼、総勢12名の弦楽器奏者が華やかにステージを彩りました。演奏に先立ち牟田久壽氏と小森谷巧氏からこれまでの思い出や苦労話、これからのサロンコンサートについてのお話を伺いました。あらためて300回という記念すべき節目を迎えたことの重みを感じるひとときとなりました。

演奏曲目は、ヴィヴァルディ四季より「春」「夏」、モーツァルトのアイネ・クライネ・ナハトムジークほか、グリーグ、ジェンキンス、ピアソラと多彩な作曲家より選曲されました。また長年にわたり耕心館サロンコンサートを愛し支えてくださった瑞穂町民の皆さんの入場が無料となり、大勢の方々が来場され演奏に酔いしれました。

牟田久壽氏が撒いた音楽の種は、このコンサートを通してこれからも瑞穂町の中で花を咲かせ続けることでしょう。



8月22日耕心館ミュージックキャラバン

武蔵野コミセン de ハープと歌のコンサート

耕心館では毎月2回コンサートを開催していますが、交通事情などでなかなか耕心館まで足を運べない方もいらっしゃると思います。そういった方々にも生演奏の素晴らしさを体感していただきたく年2回、「ミュージックキャラバン」と題して町内各所でコンサートを行っています。今年度は耕心館から一番遠い武蔵野コミュニティセンターへ出張し、開催しました。出演者はソプラノの神林あゆみさんとハープの邊見美帆子さんです。

予約の段階で満席になり関心の高さを伺わせました。誰もが耳にしたことのある、サウンド・オブ・ミュージックより「私のお気に入り」、マイ・フェア・レディより「踊り明かそう」、坂の上の雲より「スタンド・アローン」、イタリアの名曲「タイム・トゥ・セイ・グッバイ」などを美しいソプラノで歌いあげたほか、ハープのソロ演奏で「サリーズ・ガーデン～スカボロ・フェア」そしてハープの代表曲「引き潮」など全10曲を美しい声と音色でお届けしました。

ハープの弦はピアノの白鍵と同様「ドレミファソラシド」の順に並んでおり、黒鍵に該当する半音は足元のペダルを踏み替えて調整します。従って半音が多い曲は手元の優雅さに反して足の動きが忙しいとのこと。ハープを初めて見る方も多く、楽器の説明に興味深く聞き入っていました。

「耕心館は瑞穂町の文化として自慢できる」というお声もいただき、これからも皆様が求める質の高いエンターテイメントを提供していきたいと改めて思いました。



瑞穂町郷土資料館 けやし館

【問合せ】 ☎ 5 6 8 - 0 6 3 4

企画展「瑞穂のキツネ」

7月18日から9月27日の間、企画展「瑞穂のキツネ」を開催しました。瑞穂町の自然を長年観察している、瑞穂自然科学同好会の村山俊彰氏が約10年間に及び瑞穂町のホンDIGツネを観察してきた記録をもとに、展示しました。

キツネは警戒心が強いので、めったに姿を見せません。しかし、足跡やフンといった「フィールドサイン」、キツネの行動パターンを理解していると、観察することもできます。今回の展示では、観察記録を基にしたキツネの一年のサイクルのパネル、センサーカメラによる巣穴付近の様子など、貴重な写真、動画を紹介しました。

また、展示期間中にはギャラリートークや講演会も実施し、展示資料の解説をしながら、瑞穂のキツネの奥深さについて話をしました。



展示室の様子



ギャラリートークの様子

だるま絵付け体験について

6月6日に、スカイホールにて、だるま絵付け体験を行いました。

当日は、青梅市・武蔵村山市・瑞穂町から52名の参加がありました。有限会社内野屋の内野様から顔の描き方を教わり、子どもたちは楽しみながら、それぞれの個性が表れたオリジナルだるまを作り上げていました。

希望した子どもは、実際にだるまを作っている工房見学も行い、瑞穂町の魅力を改めて感じていました。



【問合せ】 教育指導課指導係 ☎ 5 5 7 - 6 6 9 4

小学校で救助袋を使用した避難訓練を実施しました

6月29日に瑞穂第五小学校、8月4日に瑞穂第一小学校、8月27日に瑞穂第二小学校、9月4日に瑞穂第四小学校で学校に設置してある救助袋を使用して教職員の方々が避難訓練を実施しました。

当日は救助袋の確認、救助袋を使用して3階からの降下訓練を行いました。

訓練を通じて、学校の避難に対する意識、対応力を高めることができました。



瑞穂第五小学校の訓練の様子



【問合せ】 学校教育課庶務係 ☎ 5 5 7 - 6 6 8 2

就学援助制度の新入学用品費を入学前に支給します

町では令和9年度に小・中学校へ入学される児童・生徒の保護者の方へ、就学援助制度の新入学用品費を入学前（令和9年3月下旬ごろ）に支給します。内容については、次の表のとおりです。

	対象となる方	支給額 (国が定める 基準額)	申請について	注意事項	今回申請し忘れた場合、審査の結果、非認定となった場合
新小学校 1年生	瑞穂町に住所を有している世帯で、今回の申請により、生活保護は受けていないが、それに準ずる程度に困窮していると認定された方 ※「準要保護」の認定を受けた方	64,300円	10月に各小中学校で実施する就学時健康診断時に申請書を配布します。（就学時健康診断終了後、ホームページからも申請書をダウンロードできます。）	①今回の新入学用品費の支給を受けた場合でも、「令和9年度就学援助制度」の支給を希望する場合は、入学後に別途申請をしていただく必要があります。（申請書は各学校から配布します。） ②今年度の新入学用品費の支給を受けた場合は、「令和9年度就学援助制度」の新入学用品費の対象にはなりません。 ③令和9年2月1日以降に転出される場合、新入学用品費の返金は求めませんが、町から転出先の自治体に本町で新入学用品費の入学前支給を行った旨を通知します。 ④入学前支給についての申請書の様式は、「就学援助費・就学奨励費（新入学用品費）入学前支給申請書」となります。	「令和9年度就学援助制度」で必ず4月中に申請してください。 ※「令和9年度就学援助制度」で「準要保護」の決定を受けた場合は、「新入学用品費」として、令和9年8月末ごろに同様の費用を支給します。 ※前年度と令和9年度で認定基準や世帯の収入額が大幅に変わることがあるため、前年度非認定になった方でも「令和9年度就学援助制度」に申請いただくと認定になる場合があります。
新中学校 1年生	瑞穂町に住所を有している世帯で、令和8年度就学援助制度において「準要保護」の認定を受けた方、または申請により、令和9年2月1日現在「準要保護」の認定を受けた方	81,000円	すでに「令和8年度就学援助制度」で「準要保護」の認定を受けている方は申請不要です。新たに申請する場合は、学校教育課へお申し込みください。		

申請期限：令和9年1月29日（金）

支給時期：令和9年3月下旬ごろ

提出先：学校教育課学務係

支給方法：保護者口座へ振り込み

※「準要保護」とは世帯の収入額、人数等を参照し、生活保護基準の約1.5倍を目安に判定し、認定を受けた世帯です。

【問合せ】学校教育課学務係 ☎557-6683

高等学校等入学時奨学金について

令和9年4月に高等学校等に入学を予定されている生徒に、入学に必要な費用の一部（6万円）を支給します。

支給要件・申請の方法など詳しくは、各町立中学校から配布される「奨学金のお知らせ」をご覧ください。
なお、私立等の中学校に通学されている方については、学校教育課から申請書を送付します。

支給金額：6万円

支給時期：令和9年3月末

【問合せ】学校教育課学務係 ☎557-6683

令和7年度 教育委員会事務の点検・評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、令和7年度に教育委員会が行った事務について点検及び評価を行い、有識者から意見をいただきました。評価結果の一部を紹介します。

【A評価事業】

▶ 学校危機管理マニュアルの改善と安全教育の充実……………教育指導課

各校が警察署や消防署等と連携して交通安全教室や避難訓練を実施しました。また、町の総合防災訓練と学校公開を同時開催し、地域・保護者と共に集団登校を行うことで、地域と連携した訓練となり、充実した防災教育を行うことができました。

▶ ボッチャ大会の開催……………社会教育課

第7回瑞穂ボッチャ大会をはじめとした様々な大会や令和7年度には新たな年齢層へのアプローチとして中学生以下の子どもと保護者を対象とした体験会を通じて、障がいの有無や年齢、性別などにかかわらず参加・交流できるボッチャの普及に努めました。大会への参加者数も増加し、引き続き普及活動を行っていきます。

▶ 郷土資料館及び耕心館の管理・運営事業……………図書館

指定管理者と連携しながら数多くの講演会等を開催し、参加者数は目標を達成、また、参加者アンケートでは満足度の高い回答をいただきました。今後も、施設の適正な維持管理に努め、より多くの方に来館していただけるよう、魅力的な施設を目指していきます。

【B評価事業】

▶ 思考力・判断力・表現力等を伸長する授業の展開……………教育指導課

授業の中で意思決定する場面を意図的に設けた授業公開において、思考力・判断力・表現力等が求められる起業家教育プログラム等を瑞穂第五小学校で行い、好事例として各校に配信し、周知を行いました。

【C評価事業】

▶ 学校施設長寿化計画の推進……………学校教育課

計画に基づき、当初予定していた小学校5校及び瑞穂中学校の体育館空調設備設置事業は完了することができたが、瑞穂中学校トイレ改修工事は国の補助金が採択保留となったことから、令和8年度事業へ先送りとなりました。

▶ 駅伝競走大会の開催……………社会教育課

目標に掲げた参加チーム数には届かなかったが、民間の交通誘導員を要所に配置し安全管理を強化したほか、ダンス連盟によるスタート前のダンスパフォーマンスやにぎわいの創出の一環としてキッチンカーを誘致するなど、参加チーム数の増加に向けて新たな取組を実施しました。

瑞穂町教育委員会所管事務事業 点検・評価一覧

評価	学校教育課	教育指導課	社会教育課	図書館	計
A（目標を上回って達成できた）	0	1	1	2	4
B（目標をほぼ達成できた）	13	38	20	12	83
C（目標を十分に達成することができなかった）	4	1	4	0	9
D（目標を達成できなかった）	0	0	0	0	0
合計	17	40	25	14	96

※学校教育課・教育指導課連携事業2件、教育指導課・図書館連携事業2件あり

今回の点検・評価の結果を受けて、教育委員会の活動の透明性を高め、より一層の説明責任を果たし、住民に信頼される教育行政を推進していきます。詳しくは、役場庁舎1階「情報公開コーナー」に設置してある報告書または教育委員会ホームページをご覧ください。

【問合せ】 学校教育課庶務係 ☎557-6682

教育委員会委員の紹介

瑞穂町教育委員会委員で教育長職務代理者の関谷 忠さんが町議会の同意を得て、10月1日から教育委員会委員に再任されました。



【問合せ】 学校教育課庶務係 ☎557-6682 関谷 忠さん

みずほの教育第52号の訂正について

6月1日付発行の「みずほの教育」第52号掲載の小・中学校の紹介記事内、瑞穂第五小学校の電話番号に誤りがありましたので、お詫びし訂正させていただきます。

正しい電話番号は、042-556-1377になります。

【問合せ】学校教育課庶務係 ☎557-6682

教育委員会委員談話

第39回：瑞穂町教育委員会 教育委員 村上 豊子

物価高で家庭の教育費が減少しているというニュースがあった。どの家庭だって、できるなら子どもの希望に沿った最高の環境を整えたいが、現実を考えるとなかなか難しい。一方でお金をかければ結果が必ず付いてくるわけではない。世の中には様々な教育論が溢れているが、他人の子育て成功例を真似ても自分の子どもが上手くいく保証はない。

そこで教育経済学者の中室牧子さんは、科学的根拠に基づく子育てを提案している。細かくは著書に委ねるが、子どもが自立して社会で成功するには、非認知能力が重要であると説く。

学力は数値化されて変化がわかりやすいが、非認知能力は数値化が難しかったので評価されにくかったが、心理学の貢献によって非常に重要であることが多くの研究で示されるようになった。

非認知能力とは、やり抜く力・やる気・忍耐強い・意志力が強い・リーダーシップがある・直ぐに立ち直る・工夫する・好奇心が強い等々。

これらは教育やトレーニングによって伸ばせることが研究で明らかになっている。そして「人から学び、獲得するもの」であることも。

非認知能力を鍛える手段として、部活動や課外活動、社会奉仕活動、アウトドア活動などが挙げられる。子どもがこういった経験を通して非認知能力を高められるよう、背中を押して欲しい。



教育委員会定例会報告

前号でお知らせした以降、5月から8月まで定例会を4回開催しました。

<主な議案>

- ・瑞穂町立学校副校長補佐配置要綱
- ・「令和8年度瑞穂町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」に伴う有識者の委嘱について
- ・瑞穂町社会教育委員の委嘱について
- ・瑞穂町図書館協議会委員の委嘱について
- ・瑞穂町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和7年度対象事業分）について
- ・令和9年度使用小学校特別支援学級教科用図書の採択について
- ・令和9年度使用中学校特別支援学級教科用図書の採択について

<主な報告事項>

- ・臨時代理の報告について（議会の議決を経るべき契約中教育に関する部分の意見聴取について（町立瑞穂中学校トイレ改修工事請負契約））
- ・臨時代理の報告について（瑞穂町立小学校の管理職の任命に関する内申について）
- ・瑞穂町駅伝競走大会実行委員会設置要綱の一部改正について

教育委員会の会議は、毎月1回（原則として、第4木曜日）開催し、傍聴することができます（非公開の事項を除く）。

開催日時および会場は広報みずほに掲載されます。また、教育委員会ホームページから開催内容や過去の会議録を見ることができます。

【問合せ】学校教育課庶務係 ☎557-6682